

小林市バイオマス産業都市構想の概要

宮崎県小林市、人口 約4.8万人、面積 約5.6万ha

構想の概要

市と市民が協同して環境負荷の軽減と経済性を確保し、バイオマス活用による循環型社会の形成、災害に強いまちづくり、農畜産業、林業の振興を含む総合的な産業振興の実現を目指す。

1. 将来像

- ① 有機性廃棄物の有効活用により環境にやさしい循環型社会の構築
- ② 人と森の絆を見つめなおし持続可能な地域社会の構築
- ③ 循環型社会の農村都市モデルとして人々が安全にかつ安心して暮らせる地域社会の構築

2. 事業化プロジェクト

- ① 家畜排せつ物・食品系廃棄物のバイオガス発電プロジェクト
・既設バイオガス発電施設に新しい発電設備を導入、自家消費
- ② 家畜排せつ物から有用資源回収プロジェクト
・未利用堆肥から炭化物を製造、肥料原料へ変換
- ③ 森林バイオマスの低コスト集材システムの構築プロジェクト
・積極的な利用と低コストな集材システムを構築
- ④ 木質ペレット暖房機等の普及推進プロジェクト
・燃料の利用施設整備を推進
- ⑤ ペレット製造の効率化・木質バイオマス発電
・ペレット工場蒸気で小規模発電(自家利用)
- ⑥ その他
・堆肥化施設の省エネ化、BDFの活用

3. 目標(10年後)

バイオマス利用率

- ① 廃棄物系バイオマス96.6%(93.6%)
 - 生ごみ100%(89.3%)
 - 家畜排せつ物98.0%(94.9%)
 - 廃食用油75%(50%)
 - ② 未利用バイオマス73.6%
 - 木質系53.9%(41.5%)
- ※()は現状の利用率

4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果(宮崎県産業連分析シートによる試算)
 - ・県内最終需要増加額31.9億円、生産誘発額19.59億円
- ② 雇用創出 19名
- ③ その他
 - ・バイオマスエネルギー利用による化石燃料代替量
電気460MJh/年、熱56,176GJ/年
 - ・温室効果ガス排出削減量 4,104t/年

6. その他

小林市総合計画、小林市バイオマス活用推進計画(策定中)、小林市環境基本計画、小林市新エネルギービジョン、小林市森林整備計画

5. 実施体制

・小林市バイオマス活用推進協議会が各プロジェクト実施の検討や進捗を管理、情報共有、連携強化を全市的に図る

小林市バイオマス産業都市構想の概要

～ 協働により『九州一 安心安全なまち小林市』を目指して～

小林市では、協働により「九州一 安心安全なまち小林市」を目指すべき将来像に掲げ市民と行政が手を取り合い一体となって住みよい小林市を創る政策を展開しています。その一翼として、本市に存在する種々のバイオマスの現状と課題を明らかにし、これを活用する事業化プロジェクトを策定し、市民(産業)と行政が協働して環境負荷と経済性を確保し、かつ災害に強いまちづくりを目指す「バイオマス産業都市構想」を実現していきます。

有機性廃棄物の有効活用により環境にやさしい循環型社会の構築

人と森の絆を見つめなおし持続可能な地域社会の構築

循環型社会の農村都市モデルとして、人々が安全にかつ安心して暮らせる地域社会の構築

小林市バイオマス産業都市構想 モデルイメージ

小林市バイオマス産業都市構想は、市内に豊富に存在する家畜排せつ物や森林バイオマスの活用により、循環型社会の形成、災害に強いまちづくり、農畜産業、林業の振興を目指します。



小林市バイオマス産業都市構想の推進体制

